

【研究課題名】

消化管がんの発生・進展の分子基盤に関する研究

【研究概要】

今回の研究では、消化管がんの遺伝子の異常、特にがんの浸潤転移に関係する遺伝子やがん細胞が死ぬメカニズムに関係する遺伝子を探します。

【本研究の目的・医学的意義】

この研究は、消化管がん（食道がん、胃がん、大腸がんなど）の手術によって摘出された検体から、細胞の遺伝子の特徴を調べることを目的としています。遺伝子の異常が見つかり、その遺伝子の異常で病気が起こり悪化することが証明されると、その遺伝子が病気を悪化させる原因遺伝子として結論づけられることとなります。将来的には、消化管がんの診断や治療につながることを期待されます。

【研究責任者】

病態病理学 教授 大橋 健一

【分担研究者】

横浜市立大学 病態病理学

助教 立石 陽子

横浜市立大学 附属病院 病理部

教授 稲山 嘉明

【共同研究機関】

横浜南共済病院

【試料提供協力】

公立大学法人横浜市立大学附属病院 外科治療学、消化器・腫瘍外科学